

# うた ひつじの詩だより

2012. 10. 1  
毎月発行 No.139  
この裏にはご注文の品と  
いっしょにお届けします

ようやく涼しくなりました。羊毛の季節到来ですね。やりたいことがいっぱいあり過ぎて、何から始めようかとそわそわしてしまい、結局何も手につかないようなときがあります。いけない、いけない。そんな時こそ心を静めて、一つずつと、自分に言い聞かせています。

今年もあと残すところ3か月。忙しさに飲み込まれないように、大事に過ごしていきましょう。

## 10月のテーブル 「針させ糸させつづれさせ」

今月は針仕事をする娘たちのイメージです。  
秋の虫たちの声を、昔の人は「針させ糸させつづれさせ」と鳴いていると聞いたようです。  
冬着の縫い物をして、寒い季節にそなえよ、ということでしょう。  
池上洋子



## おにぎょう (ウォルドルフ人形) だいき展

10月5日(金)~7日(日) AM:10:00~PM:7:00  
「集西楽サカタニ」京都市東山区京阪七条東入る南側ファミリーマート 2F 奥  
TEL:075-561-7974

早川加代子



今晩は澄んだ夜空から月の光が煌煌とさして、明かりを消しても本が読めそうなくらいです。読書の秋ですね。画家、絵本作家の伊勢英子さんの作品に「ルリユールおじさん」という本があります。大好きな植物の本が痛んでしまったので、ある少女が勇気を出して、初めてルリユール(製本をしてくれる工房)を訪ねます。美しく元どおりになった本を抱えた少女が、うれしくて小躍りして、パリの美しい街路樹の道を走り抜けていきます。どんな

に植物が好き少女だったかって? 最後のページにひとりの素敵な植物学者になった、かつての少女が描かれています。

植物といえば、ファーブルは「昆虫記」で有名ですが、その以前に「植物記」も出版されていて、その原本は、安野光雅さんによると、真っ赤な革に金箔で美しい装飾がほどこされ、持つのも重い、稀にしか見られない本だったそうです。エッチングの図版も美しい、今は幻となったその本を探し求めてパリをさまよった安野さんの思い出が伝わってきます。

金箔で思い出してしまいましたが、まりーさんがスウェーデンで住むことになった家の主は、「ルリユール」だったので。屋根裏の物置には、金箔のテープや、紙束を圧縮する道具などが、残されていました。製本屋さん、ブックバイナダー、ブックピンダレ(スウェーデン語)に比べて、フランス語のルリユールという響きはなんて素敵なのでしょう! 女の人ならルリユーズだそうです。うっかり者のまりーさんは妄想してしまいます。生涯で、たった一冊でいいから、思い切り美しい本を作りたいなー。

ただ、しかしながら、美しい装丁も中身を伴ってこそそのものです、と気がついたところで、あっけなく、夢ははるかに遠のいていくのでした。

秋の夜長、忘れていた夢が、結構忙しく去来しています。

## ばたぼん通信

## お人形と娘の成長

今は14歳の娘が5歳の時、ペレの学校の課題ガーゼ人形を作り、一生懸命に仕上げる姿を見て「すごい集中力だな」と感心した覚えがあります。それからペレの学校の受講は続き、様々な体験を通して集中力や、作る喜び、人と物の繋がり、沢山の事を親子で学びました。



ちょうど6年生になった年の4月、ひつじの詩だより97・98号の「いずみの学校6年生の人形作り」の記事を読んで、こんな風を楽しめるといいな・・・とっていました。

時は過ぎ2月中学受験が終わりホッとした後、話を持ちかけてみると、「作る! サウちゃんを作りたい!!」と即答。(D体ではありませんでしたが本人の希望を尊重して) 藤田先生の記事を参考に、じっくり手縫いでジャージを縫い、頭の形や耳の作り方に感激しながら、ゆっくりゆっくり仕上げました。根気強く仕上げていく集中力、持続力は、お人形の

持つ力とペレの学校のおかげです。

お人形の名前はサクラ。かわいいサクラのために洋服を、靴を、ベストを・・・小物作りに励み、小学校で習ったミシンにも興味津々の時期、家のミシンを私以上に挑戦的に使いこなして楽しんでいました。ベストの刺繍も図案集から選び模写、いきなり針と糸で刺し始め(下書き無し!) 出来上がると「みて~! ミーにみえ



る?」と見せられ驚かされました。かぎ針にもハマっていたので、靴を編み、ベストのふち編みをしたり夢中でした。“作りたい想い”は凄いです。やり方がどうかではなく、とにかく気持ちがそこまでさせるのです。誰かのために何かをしたい時の気持ち・・・大切にしたいと思います。

私も14年程前、長女(現在17歳)のために作り始めたウォルドルフ人形、喜び顔が見たくて、作る事も楽しくて夢中になりました。

お人形を通して子どもと楽しめる時間は本当に贅沢で豊かな時間です。

宮崎智子(神奈川県相模原市在住)

★10月21日(日)(10:00~15:00) 藤野シュタイナー学園の学園祭に今年も参加します。

★2013年4月12日(金)から14日(日) 横浜赤レンガ倉庫にて「ひつじのうたまつり」を開催。全国のウォルドルフ人形の伝え手の思いがここに結集します! ご期待ください。

「スペース ペレのあたらしいふく」10月の開店日

1日(月)~15日(月)(日曜・祝日を除く) 10:00~16:30

ホームページ <http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当: 佐藤治子

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口(金) 寺田裕子 045-881-7035